

タイトル… 汐製菓会社の新作 51
今川焼 ー

登場人物

- ・ 汐 (30代) … 汐製菓会社社長。「面白きことも無き世を面白く」をモットーに、突拍子もない菓子を次々と企画する。天真爛漫で快活な性格。
- ・ 塩田 (30代) … 汐の秘書。真面目で几帳面だが、心配性。汐の突飛な発想に振り回されながらも、内心ではそれを楽しんでいる。実は大のお菓子好き。

第一幕… 奇想天外な発案 (約 10分)

(オフィスのシーン)

(汐がデスクで足をテーブルに乗せて、何かを
考え込んでいる。塩田が書類を持って入って
くる。)

汐…(天井を見上げて、思いついたように)

「塩田、最高のアイデアが浮かんだ！」

塩田…(疲れた表情で)「またですか、社長？
前回の“抹茶餅ロケット”は子供たちが飛ばし
て遊んで、泣いちゃったじゃないですか。」

汐…「あれは成功したんだよ！さて、今回は
もつと斬新なものを考えた。ズバリ！**『アフ
オガード味の今川焼』**だ！」

(塩田が驚いて書類を落とす。)

塩田…「アフオガード味の……今川焼！？そ
れ、誰が食べるんですか？」

(汐が立ち上がり、手を振りながら話し始め
る。)

汐：「想像してみてください！熱々の今川焼を一口食べると、中から冷たいアイスクリームがとろーり。まるでおいしい魔法だ！」

（塩田がため息をつく。）

塩田：「社長、これは……実現可能なんですか？」

汐：「もちろんさ！今川焼の革命を起こすんだ！みんなが驚く顔が見たい！」

（塩田が心配そうに頭を抱える。）

塩田：「また失敗したらどうします？社長、現実を見てください！」

第二幕：試作のカオス（約10分）

（汐製菓のキッチン）

(汐がエプロンをかけ、今川焼の型を準備している。)

汐：「さあ、塩田、見てろよ。これが**』アフオガード今川焼』**の試作だ！」

(塩田が心配そうに見つめる。)

塩田：「社長、本当に大丈夫ですか？」

(汐が材料を並べ始める。)

汐：「心配無用！さあ、アイスクリームを準備して……」

(汐がアイスを入れようとした瞬間、手が滑ってアイスが床に落ちる。)

塩田：「あつ！まさかのスリップ！でもこれが“カオス”の真髄だ！」

(汐が無邪気に笑いながら。)

汐：「カオスから生まれる美味しさを信じているんだよ、塩田！」

(塩田が頭を抱える。)

塩田：「どうしよう、もう何が何だか分かりません……。」

第三幕：試食会 国内編（約10分）

(オフィスでの社内試食会)

(テーブルにずらりと並んだ テラノオガード今

川焼) 。

汐：「社員みんな、これが我々の新作だ！
試食してみてください！」

(社員たちが不安げに並ぶ。)

社員 A：「えっと……これ、本当に食べられるんですか？」

(社員Bが皿を持って前に出てくる。)

社員B：「手がベタベタになるって噂もあるし……」

汐：「それがカオスの魅力だ！さあ、食べてみて！」

(社員のが一口食べて、驚きの声をあげる。)

社員O：「うわ、アイスがとろけてる！……でもこの苦味と甘さのバランス、絶妙かも……！」

(社員たちが次々に試食し、興奮する。)

社員D：「これ、絶対に売れるよ！」

(塩田が不安げにメモを取りながら。)

塩田：「でも、包装が大問題ですね……」

汐：「その時はその時さ！これぞカオスの魅力だよ！」

第四幕：試食会 国際編（約10分）

（汐製菓は、海外のバイヤーや顧客向けに試食イベントを開催する）

（会場にはアメリカ人、フランス人、韓国人など多国籍のゲストたちがいる。）

汐：（自信満々で）「皆さん！今日の目玉は

『アフォガード今川焼』**です！さあ、どうぞ！」

（アメリカ人が一口かじり、目を見開く。）

アメリカ人バイヤー：「おお、なんだこれ！熱くて冷たくて……美味しいのか！？」

（フランス人バイヤーが興奮気味に手を叩く。）

フランス人バイヤー：「これは信じられない！
このバランスは完璧ね。スイーツとカフェのフュ
ージョン！」

（韓国バイヤーが興奮して）

韓国バイヤー：「ホットツと似てるけど、全
然違う！これ、最高だよ！」

（ゲストたちが次々とアフオガード今川焼き
味わい、賛辞を送る。）

汐：「やった！みんなが喜んでくれるとは思わ
なかった！」

第五幕…商品化の大混乱（約10分）

（数週間後、街中の汐製菓の店舗）

（店頭には長蛇の列ができてくる。）

塩田…(店頭を見ながら)「社長、意外なことに**『アフオガード今川焼』**、売れてます……!」

汐…「だろう?面白さを世に提供するのが我々の使命だ!」

(突然、クレームが入ってくる。)

塩田…「でも、店からクレームが殺到してるみたいです。『アイスが溶けて、箱の中がべたべたです!』とか、『コーヒーがこぼれてカオスです!』って……」

(汐が笑いながら、ボードに「カオスの美学」を掲げる。)

汐…「それこそが“カオス”の美学だ!世の中はカオスで回ってるんだよ、塩田!」

(塩田が頭を抱える。)

塩田：「せめて、もう少し考えませんか？お客様の声も大切です！」

第六幕：逆転の大ヒット（約20分）

（テレビのワイドショー）

司会者：「本日話題の商品は、*『アフォガード今川焼』！*その斬新さにハリウッドスターも夢中！？海外からの注文が殺到しています！」

（スタジオがざわめく。画面に汐製菓のロゴが映し出される。）

塩田：（驚きながら）「えっ、海外でヒッ

ト！？？どうして……」

汐：（得意げに）「世界のグルメは新しい体験を求めているんだよ、塩田。これからは“カオスの時代だ！”

(カメラが引いて、汐製菓の看板が見える。)

(店の外、列が途切れない。)

塩田：「この調子で行けば、もっと新しい商品も出せますね！」

(汐がウインクしながら。)

汐：「そうだ、次は何を作ろうかな……?」

第七幕：新たな挑戦(約10分)

(汐が新たなアイデアを考えるシーン。)

汐：「次は、**『カオスティックフルーツタルト』

**にしよう！」

塩田：(目を見開いて)「またカオスなものを

……?」

汐：「もちろん！フルーツがとろけるタルトの中に、なんと液体のチョコレートが隠れてるんだ！」

塩田：「それ、どうなるんですか……？」

（汐がニヤリと笑う。）

汐：「さあ、やってみよう！面白いことが待っているに違いない！」

（二人で厨房に向かう。画面がフリーズ

マフッし、フズグロールが流れる。）

完